

# 横浜国際チャレンジテニス大会 概要

2008年より2012年まで【横浜国際バリアフリーテニス大会】として横浜市南区・港北区で7回開催。2013年よりより多くの人達にテニスにチャレンジしてほしいため

【横浜国際チャレンジテニス大会】と名称を変更。

【主催】 NPO 法人 BLACKSOX / 横浜市テニス協会

【過去の会場】 南区清水ヶ丘公園体育館 港北区障がい者スポーツ施設 横浜ラポール

【過去の後援】 横浜市（・健康福祉局・市民局） 横浜市体育協会 横浜市国際交流協会  
横浜市社会福祉協議会 テレビ神奈川 神奈川新聞 2010年 APEC 横浜開催推進協議会

【過去の協力】 希望ヶ丘テニススクール 清水ヶ丘地域ケアプラザ

【参加費】 無料

子ども達、障がいのある人、海外の人、未経験の人もコーチがつくので安心、大歓迎  
助け合います 順位よりもみんなが楽しめる大会 ・ みんなで応援し合える団体戦

試合方法は相手を負かすのではなく、

相手と何回打ち合いが出来たか、というラリーの回数をお互いの得点とします。

当日、午前の練習後に実力のバランスを考えチームを作ります。詳しくは2枚目へ  
チームみんなの得点を足す団体戦とします。みんなでチームメイトを応援します。

2011年9月25日 第6回大会の様子



仲良くなるために、名札をつけお互いに名前を覚えるようにします。

前後に「お願いします」など、あいさつをします。



みんなで助け合いながら 目的は相手の人とラリーを続けること 相手をやっつけず仲良くなること  
ボールを返すためにはツーバウンドでもあきらめずに 相手にボールを返せばラリー1回です。



優勝は【小野澤お姉さんチーム】 対戦相手と674回のラリーがつながりました。

勝ち負けはありませんが、優勝はあります。



この日は参加者全員で 2,356回 ラリーが出来ました。

## チャレンジテニス大会での試合のやり方

### 点数の数え方

AさんとBさんが、ネットをはさんで向かい合い、打ち合いをします。  
ネットにかかっても、ツーバウンド以上しても、ときには手で投げても、  
何回かボールを自分のコート・ラケットに、はずませてから(サッカーのトラップの感じですが)でも

**あきらめずに相手に返せれば、ラリー1回です。**

そのときのラリーの往復の数が、お互いの得点です。



うまく出来るよう、チームみんなで助け合います。

たとえばAさんとBさんが【20回】ラリーが出来ました。

次にAさんとCさんが打ち合いをします。【30回】出来ました。

Aさんは【20回】+【30回】で【50点】です。

相手が失敗するようなボールを打つと、お互いの点が増えません。



子どもたちがネットの横でラリーの数を数えてくれます。

団体戦なので、この点数をチームで持ち寄り、足していきます。みんなで応援しましょう。

実はこのやり方だと対戦相手も、全く同じ得点になります。

それなので4チーム以上作り、総当たり戦にします。

すると、どのチームとも上手にボールをつなぎ、対戦相手も応援するチームが優勝します。

### チームの組み方、出場順番

自信のない人と上手な人、同数になるようチームを組みます。

対戦相手との最初の挨拶の前にチームキャプテン同士が

「うちのチームは偶数番に自信のない人が出場します」「では、うちは奇数番に」と  
出場順番の打ち合わせをして、自信のない人と上手な人が、打ち合うようにします。

そうすると誰もが、楽しく打ち合いが出来ます。

**相手をやっつけません。負けありません。**

**ボールを上手に、たくさん、つなげたチームが優勝です。**